

心電図検査のお話

中央検査部 臨床検査技師 岡田佐恵子

今回は、心電図検査についてお話しします。

心臓は、全身に血液を循環させるポンプの働きをしているため、常に拡張と収縮を繰り返し、これによって弱い電流が発生します。この電流を波形に記録したものが心電図です。

心電図は、今から約100年前、1903年にオランダの生理学者Einthoven(アイントーベン)によって考案され、またたく間に世界中に広まりました。彼はその業績によって1924年ノーベル生理学・医学賞を授与され、「心電図の父」と呼ばれています。「心電図」は英語でelectrocardiogramといいます。「electro」は「電気」、「cardio」は「心臓」、「gram」は「図」で、三つのことばを繋げれば「電気心臓図」ということとなります。当時太平洋戦争前で連絡用に使われていた「電信」と「電心」が紛らわしいとの理由で、軍部から名称変更を求められ、「電」と「心」を入れ替えて「心電図」と呼ぶことになったということです。

「心電図」という名称がつけられたエピソードより。

心電図検査の手順

- ①上半身裸になり、仰向けに寝て安静にします。
- ②胸に6ヶ所と両手首・両足首の4ヶ所に電極をつけます。
検査時は体の力を抜いてリラックスしましょう。
胸の電極は吸盤で付けますが、多少くすぐったく感じられますが痛くはありません。



検査時間 2~3分程度です。

検査後に吸盤の跡が付くことがあります、時間が経つと消えます。

心電図検査は、痛みはなく、数分で終わるとても簡単な検査です。

心電図検査では、心筋梗塞・不整脈や狭心症・心肥大・心膜炎などの心臓に関わる異常または病気がわかります。心電図で異常が見られたら負荷心電図・ホルター心電図(24時間心電図)・心エコーなど、さらに詳しい心臓の検査が行われます。こんな症状の方は心電図検査をお勧めします。

- 脈が速い、遅い、不規則
- 動悸
- 目の前が暗くなる
- 息苦しい
- 胸が痛くなる、締め付けられる、左腕が重くなる

特に寒い時期は体調管理を行い、症状に気づいたらまずは受診し医師に相談しましょう。